インフレータースクリーン

組立設置説明書

inflator

製品の特長

本製品は、エアーを注入して膨らませるタイプのスクリーンです。
専門業者による設置工事が不要で簡単に短時間で設置ができます。
各種イベントにご使用いただけます。

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

安全のため必ず、平坦な場所に設置してください。
屋外でご利用される場合は、スクリーンが風で転倒しない様に、
重石や杭でしっかりと本体を固定してください。
　また、雨天の場合や強風・突風の恐れがある場合は
使用を中止してください。

その他の準備品は設置環境に合わせてご用意ください。

●設置後は、この組立設置説明書および保証書を運用責任者へお渡しください。

もくじ

安全上のご注意・・・・1
付属品の確認・・・・・2
組立要領・・・・・・・2～4
修理要領・・・・・・・4～5
収納要領・・・・・・・5～6
仕様・・・・・・・・・7

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、必ずお守りください。

⚠ 警告　**この表示欄の内容を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重症を負う可能性があります。**

⚠ 警告

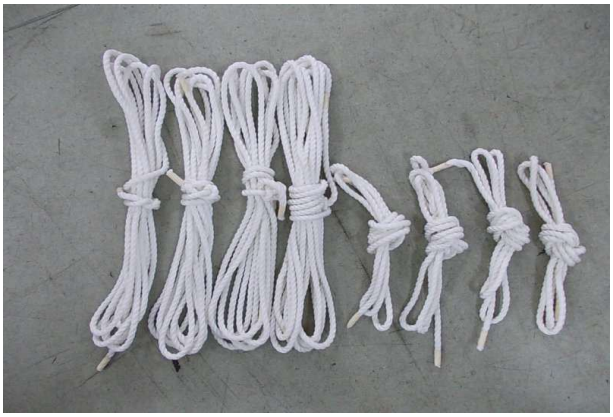
強制 **組み立ておよび設置は必ず2人以上で行う** １人での作業は、本機が転倒したり、思わぬけがをする恐れがあります	強制 **スクリーンは平地を選んで設置してください。** スクリーンは転倒する恐れがありますので、平地を選んで、回りに障害物がないことを確認して設置してください。	強制 **風が強い気象条件下では使用しないでください。** 風速が５ m/s を超える場合はスクリーンの設置及び使用をしないでください。

設置・組み立て上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は一切責任を負いません。

付属品の確認

スクリーン本体 ×1

ポンプ ×1 (203 インチ以上は×2)



ロープ (P7 仕様表を参照)

補修用シート ×1

組 立 要 領

=準備作業=

①スクリーンを設置する場所が平らな場所で障害物がないことを確認します。
＊外形寸法W× Hのスペースが必要です。

②保護シートを広げます。
＊スクリーンの破損を防止するために、
ビニールシート等の保護シートを下敷きに
使用してください。
＊本製品には付属していません。

③スクリーンの設置方向に注意して生地を広げます。
＊写真は右下側が映写面となります。
＊スクリーンの下位置側は背面のフレーム生地が
重なっていますので目安にしてください。

④ロープの固定

・スクリーンの横位置にある固定用フックにロープを括りつけます。
（左右対称位置に 8 ヶ所以上）

＊スクリーン上位置のフックには長いロープを取付けて下位置のフックには短いロープを取付けます。

⑤ポンプ（送風機）の接続

・スクリーンの横位置にある吸排気口にポンプ（送風機）を接続します。

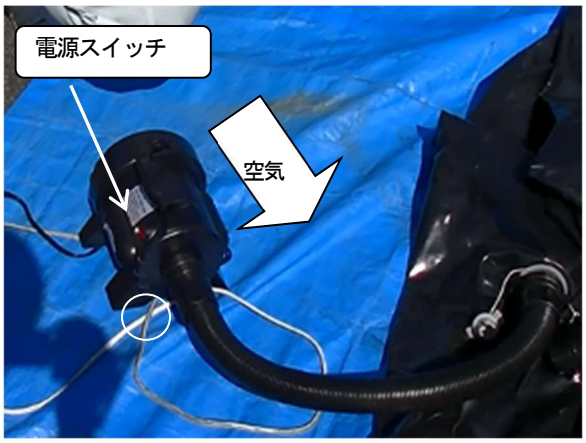
＊吸排気口にホース先端を固定させる為にはホース先端を少し押し込んで右回転させます

＊外す場合は少し押し込んで左回転させます。

＊ホース先端が破損しない様に注意してください。

＊ポンプはホースを接続する方向によって送風と吸気を行います。稼働したポンプに手を近づけて吸気方向か排気方向かを確認してください。

＊スクリーンに折れ曲りやねじれがないか確認して、送風前に直してください。



＝ スクリーンの立ち上げ ＝

⑥ポンプの電源を入れて送風し、形を整えながら膨らましていきます。

＊横のフレームが写真の様に膨らんできたら上部フレームを持ち上げます。

＊固定用ロープを持って、スクリーンが転倒しないように操作します。

SIS26818

⑦スクリーンが自立してフレーム部に十分な空気が入っていることを確認して、ポンプの電源を切り、ホースを取り外します

＊フレームを手で押して凹みができない事を確認します。

＊スクリーンの移動をする場合は、生地が破損する恐れがありますので、スクリーンが擦れない様に十分に注意してください。

⑧スクリーンの各ロープは、それぞれに重量物（重石）を取り付けてください。

＊重石の重量は下表を参考にしてください。

＊上部のロープを固定する際はスクリーン前後の方向に引っ張り角度が均等になるように位置決めしてください。

＊重石を取付けたロープはピンと張る程度の引っ張りにして、引っ張りすぎないようにしてください。

＊重石が準備できない場合はコンクリートや鉄製の固定建築物などにロープを固定してください。

＝重石の目安（耐風速５m/s の計算値）＝

スクリーン	重量物（重石）×8 か所固定
153FN	21(kg) × 8
173FN	25(kg) × 8
203FN	32(kg) × 8
233FN	39(kg) × 8

注意：風速が 5m/S を超える場合は使用しないでください。
（風速 5～10m/S は木の葉や細かい小枝がたえず動いたり軽く旗が開く状態が目安となります。）

修 理 要 領

＊スクリーンが破損した場合は補修用シートを貼り付けて修理してください。

①破損箇所（空気が漏れている部分）をアルコールが付いた布で清掃してください。

②補修用シートを適切な大きさに切ります。

③補修用シートの裏面の粘着保護シートをはがして、破損箇所に貼り付けます。

④貼り付け部に浮きが無いようにしっかりと押さえます。

① 破損部の清掃

②補修用生地の切取り

③粘着保護シートの剥離

④貼り付け

⑤押さえ付け

⑥修理完了

収納要領

①ポンプの稼働

・スクリーンの吸排気口にポンプを接続します。

＊ポンプを接続してスクリーン内部の空気を排気します。
＊排気する場合は、ホースを接続する方向が送気の場合（空気を送る場合）とは逆になります。
＊吸排気口にホース先端を固定させる為には、ホース先端を少し押し込んで右回転させてください。

②ポンプの電源を入れて、フレーム部の折れに注意しながら排気していきます。

③自立しない程度に空気が抜けてきたら、固定用ロープを引っ張って、スクリーンイメージ面が上になるように折りたたみ置を合わせていきます。

④スクリーンが倒れて大半の空気が抜けてきたら、固定用ロープを取り外します。
＊空気が抜けにくいところは手で押して排気を補助します。

＊前に倒れないように操作します。

＊スクリーンを整えながら空気を抜きます。

＊平らになるようにフレーム部をのばしておきます。

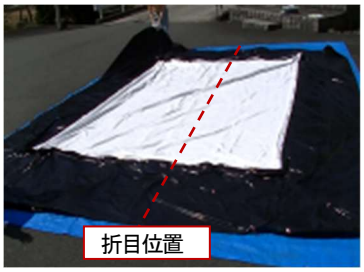
＊しわを取りながら空気を抜きます。

＊ポンプから排気が出なくなればポンプを止めます。

⑤空気が抜けてきたらポンプを停止して取り外します。
（ポンプの音が変わり、排気をしなくなります）

⑥スクリーンを順に折りたたんでいきます。
＊スクリーンのイメージ面が内側になるように折り込みます。
＊イメージ内に異物を挟み込まないように、また、こすれたり傷がつかないように注意してください。

例）２０３ＦＮの場合（以下の写真を参照して下さい）
・イメージ面を上にしてスクリーン高さ方向で中央で二つ折します。
・更に三つ折りします。
・次にスクリーンW方向に生地端から順に巻き込んでいきます。
・約 W1100×D700×H400 のサイズに折りたためます。
＊ 収納サイズは空気の抜き具合や、折り方・巻き込み方によって変わりますので収納する際は常に生地端を整えて空気を十分に排気し丁寧に折りたたんでください。



スクリーンの映写面を
上にしてH方向の中央で
二つ折りにします。

スクリーンの生地のシワ
を伸ばしながら更に
三つ折にします。

更に二つ折にします。

折り目を揃えます。

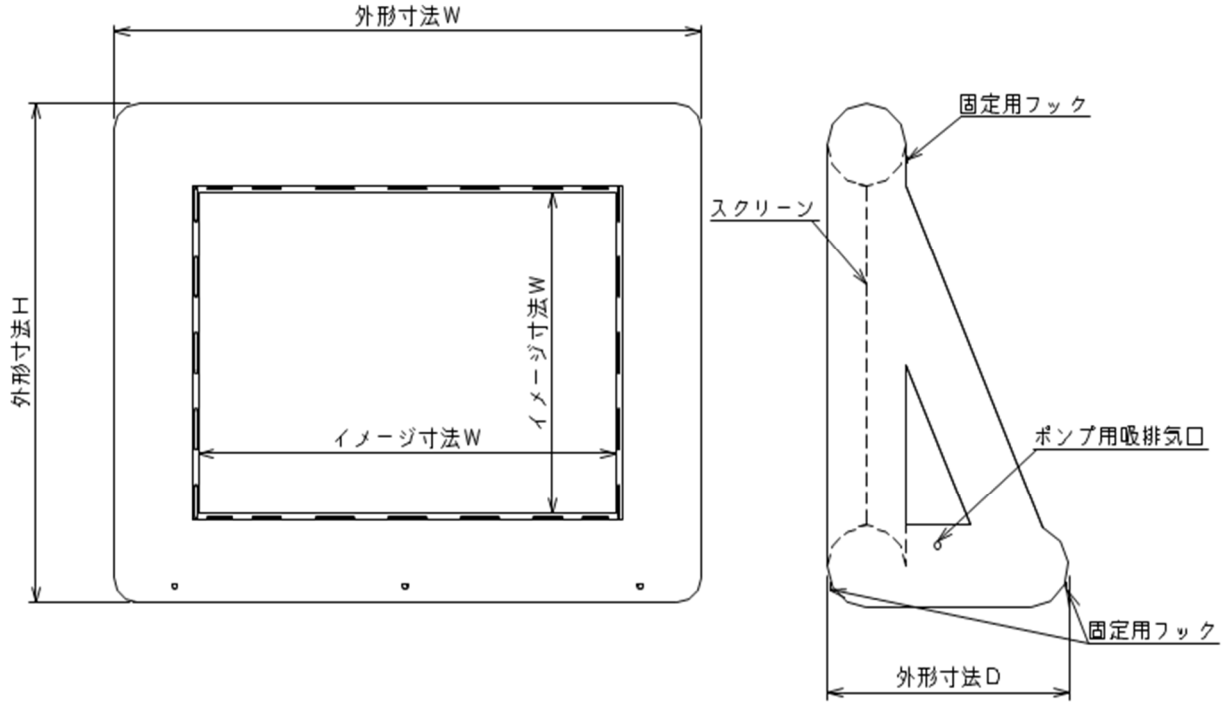
端から約 600㎜ 程で
折り込みます。

しわを除きながら
折り込みます。

折りたたみ完了。

SIS26818

仕　　様



		インフレーター スクリーン 製品仕様表			
型式		SIS-153F1	SIS-173F1	SIS-203F1	SIS-233F1
スクリーン生地		材質：ＰＶＣ　／　色：白			
フレーム生地		材質：ＰＶＣ　／　色：黒			
本体質量(kg)		63	85	90	95
外形寸法（㎜）W×H×D		4850×3950×2000	5300×4300×2150	5950×4800×2350	6650×5300×2650
イメージサイズ（㎜）W×H		3450×2550	3900×2900	4550×3400	5250×3900
投影可能最大サイズ		NTSC ﾀｲﾌﾟ(4:3) =167 型	NTSC ﾀｲﾌﾟ(4:3) =190 型	NTSC ﾀｲﾌﾟ(4:3) =233 型	NTSC ﾀｲﾌﾟ(4:3) =255 型
		HD ﾀｲﾌﾟ(16:9) =153 型	HD ﾀｲﾌﾟ(16:9) =173 型	HD ﾀｲﾌﾟ(16:9) =203 型	HD ﾀｲﾌﾟ(16:9) =233 型
		WXGA ﾀｲﾌﾟ (16:10)=160 型	WXGA ﾀｲﾌﾟ (16:10)=181 型	WXGA ﾀｲﾌﾟ (16:10)=211 型	WXGA ﾀｲﾌﾟ (16:10)=243 型
梱包外形寸法(㎜)	スクリーン袋	φ600×1200	φ600×1200	φ700×1400	φ700×1400
	付属品箱(W×H×D)	900×250×350	900×250×350	900×250×350	1500×500×600
付属品	ポンプ	×１	×１	×2	×2
		型式：0V-10、　定格電圧：100V、　消費電力：1000W			
	ロープ	8m×5 本、2m×6 本	10m×6 本、2m×8 本	10m×6 本、2m×8 本	10m×6 本、2m×8 本
		補修用シート：　×1			
		組立設置説明書：　×1			

・仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更する場合があります。

保証書

品名　インフレータースクリーン

お 客 様 名：　　お 取 扱 店：

ご購入年月日：　　住 所 ／ TEL：

保証期間 ご購入の日より	本体　１ヵ年

1. 保障期間内であっても次の場合は有償修理となります。
(1) この保証書のご提示がない場合。
(2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
(3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
(4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
(5) 火災や天災等による故障および損傷。
(6) 消耗品および付属品の交換の場合。
(7) スクリーン表面の汚れ・損傷に関する修理。
2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。

■ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。

※　この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、 取扱店または下記のテクニカルサポートセンターまでお問い合わせください。

製造販売元　株式会社オーエスエム

連絡先:株式会社オーエス テクニカルサポートセンター
〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53
TEL:0120-465-040 FAX:0120-380-496
(受付時間:平日 9:00～17:50 ※土日祝祭日を除く)
E-mail : info@os-worldwide.com